

延岡市かわまち広場条例施行規則

平成 29 年9月 25 日

規則第 35 号

(趣旨)

第1条 この規則は、延岡市かわまち広場条例(平成 29 年条例第 36 号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(使用許可の申請)

第2条 条例第5条第1項の規定によりかわまち交流館(条例別表第3に掲げる附属設備を含む。)又は河川広場(以下「施設等」という。)の使用許可を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、延岡市かわまち広場施設等使用許可申請書(様式第1号。以下「申請書」という。)を延岡市かわまち広場の指定管理者(以下「指定管理者」という。)に提出しなければならない。

2 申請者は、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、当該各号に定める期間内又は期日に申請書を提出しなければならない。ただし、特別の理由があると指定管理者が認めるときは、この限りでない。

(1) 条例別表第1に定める場合 次のアからウまでに掲げる場合の区分に応じ、それぞれアからウまでに定める期間

ア 使用期間が 10 月1日から 12 月の最初の日曜日までの場合 当該年の1月2日から6月 20 日までの間

イ アに掲げる期間以外の期間において、使用しようとする日数が連続して 30 日以上の場合 使用開始日の3か月前から使用開始日の1か月前までの間

ウ アに掲げる期間以外の期間において、使用しようとする日数が連続して 30 日未満の場合 使用開始日の 14 日前から使用開始日の2日前までの間

(2) 条例別表第2に定める場合 使用開始日の2か月前から使用開始日までの間

(3) 条例別表第3に定める場合 使用日

(4) 条例第5条第1項第2号から第5号までに掲げる行為をする場合 使用開始日の2か月前から使用開始日の7日前までの間

3 第2項第1号及び第4号に掲げる場合は、申請者は、延岡市かわまち広場施設等使用計画書(様式第2号。次条において「使用計画書」という。)を指定管理者に提出しなければならない。

4 使用許可の申請の順位は、申請書の提出があった順によるものとする。ただし、使用許可の申請が同時になされ、かつ、使用期間が重複する場合(第2項第1号アに掲げる場合を除く。)は、指定管理者は、抽選によって使用許可の申請の順位を決定するものとする。

(使用許可等)

第3条 指定管理者は、使用許可の申請の順位に従って申請書の内容を審査し、適当と認めるときは、使用を許可するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、複数の者から前条第2項第1号アに掲げる場合の使用許可の申請があった場合は、指定管理者は、申請書及び使用計画書の内容を審査した上で、適当と認める者に使用を許可するものとする。

- 3 指定管理者は、使用許可の可否を延岡市かわまち広場施設等使用許可通知書(様式第3号。次条及び第5条において「使用許可通知書」という。)又は延岡市かわまち広場施設等使用不許可通知書(様式第4号)により、申請者に通知しなければならない。

(使用の中止)

第4条 使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、使用を中止しようとするときは、あらかじめ、延岡市かわまち広場施設等使用中止申請書(様式第5号)に、使用許可通知書を添えて指定管理者に提出し、その許可を受けなければならない。

(使用許可を受けた事項の変更)

第5条 使用者は、条例第5条第1項の規定により使用許可を受けた事項を変更しようとするときは、あらかじめ、延岡市かわまち広場施設等使用変更申請書(様式第1号)に、延岡市かわまち広場施設等使用変更計画書(様式第2号)及び使用許可通知書を添えて指定管理者に提出し、その許可を受けなければならない。

(売上額の確定)

第6条 条例別表第1に定める場合の使用については、指定管理者はかわまち交流館に備付けのレジスターにより売上額を確定し、書面により使用者に通知するものとする。

- 2 前項の規定によることができない場合においては、指定管理者が適当と認める方法で売上額を確定するものとする。

(利用料金の減免)

第7条 条例第12条に定める利用料金の減額又は免除は、次の各号に掲げる場合に行うものとし、減額し、又は免除する額は、当該各号に定める額とする。

- (1) 市内の保育所、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校等が、教育目的で施設等を使用する場合 条例別表第2及び別表第3に掲げる利用料金の全額
- (2) 指定管理者が施設等を使用する場合 条例別表第1から別表第4までに掲げる利用料金の全額
- (3) 前2号に定めるもののほか、指定管理者が特に必要と認める場合 条例別表第1から別表第4までに掲げる利用料金の一部又は全額

- 2 利用料金の減額又は免除を受けようとする者は、延岡市かわまち広場施設等利用料金減免申請書(様式第6号)を、申請書と同時に指定管理者に提出しなければならない。ただし、前項第2号に掲げる場合は、この限りでない。

(遵守事項)

第8条 使用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。
- (2) かわまち交流館の収容定員を超えて利用しないこと。
- (3) 河川広場の使用については、利用客に条例第10条に規定する行為をさせないよう必要な措置を講ずること。
- (4) 利用客の安全確保の措置を講ずること。
- (5) 施設等を毀損し、若しくは汚損し、又は備品を亡失したときは、直ちに指定管理者に届け出ること。
- (6) 条例第16条の規定により施設等を原状に回復したときは、指定管理者の確認を受けること。
- (7) 前各号に定めるもののほか、指定管理者が管理上の必要に基づいて行う指示に従うこと。

(責任者の届出)

第9条 使用者は、施設等の安全を確保し秩序を保持するために必要な責任者を定め、あらかじめ申請書により、指定管理者へ届け出なければならない。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、かわまち広場の管理及び運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この規則は、条例の施行の日から施行する。